

第7回当別町史編さん委員会 会議概要

日 時：令和3年3月29日（月） 午前11時

出席者：（事務局）一宮総務部長、長谷川総務課長、五東総務係長、藤原主査、村田主任
石川社会教育課長、下村文化財保護係長、飯田主事
倉田歴史研究専門員、(株)須田製版担当者

（委 員）竹田委員長、松尾副委員長、白井委員、野口委員、大口委員、曾川委員
大畑委員

1 開 会 長谷川総務課長

2 挨拶 竹田委員長

3 議 事

新当別町史構成案について

事務局及び(株)須田製版より、今までよりも詳細な構成案について報告をし、理解を得た。
具体的な構成案については、以下のとおり。

カラーグラビア 約30頁

第1部 自然環境編

第1章 気象 5頁 鈴木明彦

第2章 地形・地質・土壌 25頁 鈴木明彦

第1節 地形

第2節 地質

第3節 土壌

第3章 植物 30頁 大沼弘樹

第1節 地域別の植生分布とその要因（土地利用や気候と植生分布の関係）

(1) 南部

(2) 概ね当別ダム以北の中～北部

第2節 特筆すべき植生と取り組み

(1) 道民の森

(2) 北海道医療大学の森

(3) 丘陵～低山尾根部に点在するダケカンバ林

(4) 低湿地の植生

(5) 見晴らしの松

第3節 当別の植物のこれまでとこれから

第4章 動物 30頁 河井大輔

第1節 哺乳類・両生類・爬虫類

(1) 市街地・農耕地

- (2) 防風林・河畔林
- (3) 河川敷ほかの草地植生
- (4) 河川・ダム湖・池沼・湿地
- (5) 山地・丘陵の樹林

第2節 鳥類

- (1) 市街地・農耕地
- (2) 防風林・河畔林
- (3) 河川敷ほかの草地植生
- (4) 河川・ダム湖・池沼・湿地
- (5) 山地・丘陵の樹林

第3節 魚類

- (1) 河川・ダム湖・池沼・湿地

第4節 昆虫・その他の生物

- (1) 市街地・農耕地
- (2) 防風林・河畔林
- (3) 河川敷ほかの草地植生
- (4) 河川・ダム湖・池沼・湿地
- (5) 山地・丘陵の樹林

第5節 当別町に生息する主要な動物リスト

- ①哺乳類②両生類③爬虫類④鳥類⑤魚類⑥昆虫⑦その他の生物

第2部 通史編 1970年以前の当別

第1章 当別町の遺跡 20頁 越田賢一郎

第1節 寒冷期から温暖期へ

- (1) 旧石器文化と北海道 最初の北海道人
- (2) 自然環境の変化と縄文文化の成立

第2節 古石狩湾と遺跡ー海岸部になっていた当別周辺ー

- (1) 古石狩湾
- (2) 海と当別町の遺跡
- (3) 湾から潟へー砂丘の形成と遺跡ー

第3節 石狩川と遺跡

- (1) 続縄文文化から擦文文化へ
- (2) 石狩川河口域の遺跡
- (3) 石狩川と交易

第2章 アイヌ文化と当別町 30頁 関口明・田端宏

第1節 中世のアイヌ文化 5頁 関口明

- (1) 石狩低地帯のアイヌ

(2) 文献に見るアイヌ

第2節 近世におけるアイヌの足跡～石狩川の中下流域 25頁 田端宏

- (1) 18世紀のアイヌ社会
- (2) 蝦夷地勤番制下の場所請負制度
- (3) イシカリ場所における当別エリア
- (4) 当別川とアイヌ

第3章 近代の当別町 1945年以前の歩み 40頁 大藤寛之

第1節 明治初期のトウベツ地方

第2節 戸長役場時代の当別

第3節 各地域への入植と産業の発達

- (1) 集落への入植
- (2) 農業の発達
- (3) 畜産の発達
- (4) 林業の発達
- (5) 鉱工業の発達

第4節 社会基盤の整備

- (1) 道路
- (2) 水運

第5節 公共機関の設立

- (1) 警察機関の発達
- (2) 郵便事業
- (3) 福祉・衛生施設の整備
- (4) 教育機関の創立

第6節 寺社の設立

第7節 北海道二級町村制時代の当別

第8節 北海道一級町村制時代の当別

第9節 産業の発展

第10節 交通機関の発達

- (1) 道路
- (2) 鉄道
- (3) 自動車事業
- (4) 運送業

第11節 公共機関の発達

- (1) 教育施設
- (2) 郵便
- (3) 医療、福祉

(4) 宗教施設

(5) 電気事業

第12節 市街地の発達

第13節 改正一級町村制時代の当別

(1) 改正一級町村下の当別村

(2) 戦時体制下の当別村

第4章 現代の当別町－1945年から1970年まで 20頁 平野友彦

第1節 戦後復興と当別町

(1) 敗戦に対する村民の受け止め

(2) 戦後の混乱とそれへの取り組み

(3) 地方自治法と行政の再編

(4) 農業政策の実施

(5) 自治体警察の設置と廃止

(6) 戦後教育への取り組み

(7) 交通

(8) 災害と治水

(9) 米軍と自衛隊部隊の駐屯

第2節 高度経済成長下の当別町

(1) 町政の展開

(2) 教育の拡充

(3) 交通・通信

(4) 災害と治水

(5) 自衛隊

第3部 本編－1970年以降、現在までの当別町の歩み

第1章 まちの姿の移り変わり 100頁 吉嶺茂樹

第1節 人口の推移

(1) 札幌大橋の開通とJRの電化

(2) 太美地区のベッドタウン化

(3) 新駅とロイズの新工場

第2節 新興住宅地の形成

第3節 スウェーデンヒルズの形成

(1) 石狩新港の計画と宅地開発

(2) 北洋交易による新計画「スウェーデン村」

(3) スウェーデンヒルズのまちづくり

(4) 別荘地から住宅地へ

第4節 村の変貌 各集落・自治会の変遷

第5節	幻の町村合併	
第2章	行政	120頁 平野友彦
第1節	社会経済状況の変容と当別町	
第1項	町政の動向	
第2項	消防と防災、治安	
第3項	国の出先機関など	
第2節	21世紀に向けた当別町の取り組み	
第1項	町政の動向	
第2項	消防と防災、治安	
第3項	国の出先機関など	
第3章	町民の暮らし	100頁 金澤理恵
第1節	少子高齢化の進行	
第2節	「共生のまち」を目指して	
(1)	地域包括ケアシステムの構築	
(2)	地域コミュニティ	
(3)	子育てサポート	
(4)	医療・健康・福祉	
(5)	コロナ禍の中で	
第3節	リサイクルと環境保護 生活の場を守るために	
(1)	リサイクルへの取り組み	
(2)	自然保護への取り組み	
第4章	教育	100頁 関口明
第1節	教育委員会と当別町の教育	
(1)	当別町の教育－総合計画を通して－	
第2節	当別町の学校	
(1)	小・中学校	
(2)	「とうべつ学園」－一体型義務教育学校－	
(3)	当別高等学校	
(4)	北海道医療大学	
(5)	閉校した小・中学校	
第3節	当別町教育の諸側面	
第4節	社会教育と施設・行事	
第5節	社会体育と施設・行事	
第5章	社会的インフラストラクチャーの整備	120頁 大藤寛之
第1節	交通網の変遷	
(1)	道路	

(2) 鉄道

第2節 通信事業

(1) 郵便事業

(2) 電話事業

(3) インターネット

第3節 「北欧の風道の駅とうべつ」の開業・運営

第4節 公営住宅

第5節 生活環境の整備

第6節 治水事業

(1) 河川改修工事

(2) 当別ダム

第7節 土地改良事業

第6章 産業 120頁 平井貴幸

第1節 第1次産業

(1) 農業の変遷

(2) 酪農（畜産）部門とその変遷

(3) 都市型農業の発展：野菜・花き・工芸農作物

第2節 第2次産業

(1) 製造部門

(2) 建設部門

第3節 第3次産業

(1) 商業部門

(2) 観光関連部門

第4節 産業構造の変化と観光振興

(1) 産業振興と農業の6次産業化

(2) 再生可能エネルギーとその施策

(3) 観光振興と観光客誘致に係る施策

第7章 文化と宗教 50頁 井上美香

第1節 文化

(1) 1970年以降の文化的事業興隆の背景

(2) 指定文化財

(3) その他の文化財及びそれに準ずるもの

(4) 当別町文化協会

(5) その他の文化活動

(6) 祭・イベント

(7) その他のできごと

第2節 宗教

- (1) 1970年以前の概要
- (2) 神社
- (3) 仏教寺院
- (4) キリスト教系
- (5) その他

第8章 災害及び事件、事故 35頁 井上美香

第1節 災害

- (1) 自然災害
- (2) 事件・事故
- (3) 防犯・防災への取り組み

資料編 50頁

年表 15頁

参考文献 5頁

委員より以下の質問があった。

(委員)

林業について、現在は産業としては盛んではないかもしれませんが、町有林などが現在どこに、どの程度、どのようになっているかという記述もどこかで書いていただきたい。

(事務局)

承知しました。国有林、道有林、町有林、私有林がどの程度残っているのかというのは、記述したい。

(委員)

それはどの辺りに記載されますか。

(事務局)

森林資源のところでは取り上げる予定。

(委員)

第3章 近代の当別町 1945年以前の歩みの部分が40ページ。項目を見ますと、現在ある当別町史の項目がほぼ網羅されている。この項目をすべて書いていくとすごいボリュームになるのではないかと想像する。40ページにまとめようとする、窮屈な感じになるのではないか。

(事務局)

委員のご指摘のとおりで、どこまで詳しく書くかというのは、執筆者とも相談している。ただ、ここのページが多くなってしまうと新町史としてはバランスが悪いので、かなり短い事実の記述のみになってしまうかもしれないと考えている。

(委員)

当別町出身の文化人や作家さんに関する記述はどこかに書かれますか。

(事務局)

文化人を列挙するなり、考えたい。

(委員)

農業の関係で、当別土地改良区の記述はどこかに書かれますか。

(事務局)

農業のところで扱わずに、インフラストラクチャーの整備ということで、第5章第7節の土地改良事業の中で記述したい。

(委員)

当別町は農村における保育所の幼児教育が北海道でも有名であった。昔は保育所も各部落にあった。そういう経緯も記録に残しておく必要はあるのだろうと思う。

(事務局)

第3部第3章第2節(3)子育てサポートの部分で、農村地域の保育所の充実だとかそういう歴史的な経緯などは記述したい。

(委員)

表彰の関係で、個々の成績だとか受賞者の氏名は記載されるのか。

(事務局)

氏名については、基本的に名誉になることなので問題無く掲載できると思う。一定の基準を決めて掲載したい。

(委員)

オリンピック候補選手だとかはどうなるのか。

(事務局)

受賞者は明確な基準があるが、オリンピック候補選手などは、第3部第7章第1節(7)その他のできごとでの記載となるか。その辺の線引き等を執筆者と検討したい。

次回会議の日程を5月18日とし、閉会した。